



空中に現れる映像。触れそうで触れないね。

## 光が七色って本当なの？ 科学実験教室「ひかりのふしぎ」

学びの杜のいち カレードで11月23日(金・祝)、今年度の市民提案型協働事業「金沢工業大学 物理プロジェクト」の一環として、同大学の田中忠芳先生と学生3人が、光の性質についての科学実験教室を開催しました。身の回りのふしぎ発見のきっかけ作りになればという思いで開かれた催しには約20人の親子が参加。夕日を作りだす装置や浮かび上がる3Dホログラムなど、好奇心を刺激する実験の数々が披露され、子どもたちは楽しそうに光の性質を学んでいました。

## 障害についての理解を深めよう 福祉教育

11月30日(金)、菅原小学校の4年生を対象に福祉教育が行われました。市社会福祉協議会が主催するこの事業は、児童が思いやりや支え合いの心を育むことを目的に実施。市聴覚協会の嶺藤至氏が講師を務め、聴覚障害や自身の日常生活について、クイズを交えて伝えたほか、児童に手話を教える場面もあり、児童は興味深々に学びました。嶺藤氏は「聞こえないことは不便だが不幸ではない。今後も障害全般への理解を深める活動をしたい」と意気込みを語りました。



児童は嶺藤氏から手話のあいさつや自己紹介を教わりました。



大切な人に、心を込めて年賀状を書きます。

## お正月のあいさつは年賀状で 小学生に年賀はがきを贈呈

12月10日(月)、市内の郵便局長が富陽小学校を訪れ、2年生146人に年賀はがきを贈呈しました。贈呈はソーシャルメディアの普及で若者の手紙離れが進むなか、子どもたちがはがきや手紙の書き方を学ぶための一助になることを願って送られたもので、(株)村田製作所の協力で実現。はがきを受け取った児童は「大切な人に年賀状を書いて送りたい」と話しました。年賀はがきは富陽小学校のほか、市内の小学校など13校に計4,500枚が送られ、国語の授業などで活用されました。



今年は本町地区を対象に、20世帯85枚が張り替えられました。

## 気持ちのよい迎春を ひとり暮らし高齢者宅障子張り奉仕事業

12月2日(日)、市商工会青年部員25人と民生委員12人が協力し、1人暮らし高齢者宅から障子を回収して新しいものに張り替え、自宅へ届けるボランティア活動が行われました。新年を気持ちよく迎えてほしいという思いが込められたこの事業は、平成2年から毎年続けられています。青年部副部長の吉田拓矢氏は「障子を渡したときに喜んでくれる姿を見ると、やって良かったと感じる。約30年続くこの活動を未来へ継承していきたい」と意気込みを述べました。

# まちな話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎227-6056

## 本場の音色で観客を魅了 BIG APPLE in Nonoichi 2018

11月24日(土)、25日(日)、文化会館フォルテで24回目となる「BIG APPLE」が開催されました。今年の本場ニューヨークの第一線で活躍しているピアノのベニー・グリーンさん、ベースのピーター・ワシントンさん、ドラムのルイス・ナッシュさんなど5人が野々市に集結し、圧巻の演奏を披露。また、今年もホストバンドを務める「ムーンライト JAZZ オーケストラ」との共演が実現したほか、昨年の全国樺サミット野々市大会でも活躍した女性アカペラユニット「XUXU(シュシュ)」も登場し、約500人の観客を魅了しました。

22日(日)には、4人の出演者が野々市小学校を訪ねて演奏を披露。迫力のある生演奏を目の当たりにした生徒からは大きな拍手が起こっていました。



楽しい型抜き作業♪たくさんのクッキーが出来上がりました。

## 甘くてスパイシーなひととき ジンジャーブレッドマン作り

富奥防災コミュニティセンターで11月17日(土)、国際交流員のエドワード・ミルナーによるイギリス発祥の生姜クッキー「ジンジャーブレッドマン」作りが行われました。子どもたちを中心に10家族22人が参加したイベントでは、エドワードから英語の絵本『The Gingerbread Man』の読み聞かせもあり、クリスマスの時期ならではの菓子作りには花を添えました。オーブンから漂う香ばしい香りに、「甘くていい匂い、早く食べたい」と焼き上がりを待ち望む声が聞かれました。

## 目で耳で、心で感じる秋の北国街道 深秋の野々市 鏡花の文学と旧家の庭園公開

11月23日(金・祝)、秋の深まりを感じる中、市郷土資料館で泉鏡花の名作を耳で楽しむ朗読会を開催し、43人が参加しました。読み上げるのは、県内各地で朗読会を主催する高輪真知子さん。声色や読み方の変化で複数の登場人物を巧みに表現します。参加者は「結末に思わず涙が出ました」と情感たっぷりの作品の世界に浸りました。当日は、市指定文化財である水毛生家の庭園も公開され、赤や黄色の紅葉を愛でる多くの人で賑わいました。



演目は「義血侠血」より「滝の白糸」。切ない悲恋の物語です。

